

科目名	祖典講読ⅢE							学期	前期
副題	『吽字義』を読む				授業方法	講義	担当者	川崎一洋	
ナンバリング	M3-01-206	実務経験の有無	無	関連DP	1, 2, 3	単位数	2	他	—

授業の目的と概要

弘法大師・空海の主要著作であり、『即身成仏義』『声字実相義』とともに三部書に数えられる『吽字義』を、漢文の注釈書を参照しながら読み、弘法大師の思想、密教の思想について理解を深める。

授業の到達目標

漢文読解力と、弘法大師の思想および密教の思想に関する知識を培う。

授業計画

- 『吽字義』とは何か（書誌的解説）
- 梵字の基礎知識を学ぶ
- 吽字の字相
- 吽字の字義
- 阿字の字義（略説）
- 阿字の実義（本初不生の実義）
- 阿字の実義（迷悟の所見、経説）
- 汗字の実義（実義の要略、凡夫外道よりの実践）
- 汗字の実義（小乗・大乘よりの実践）
- 汗字の実義（六義よりの実践①）
- 汗字の実義（六義よりの実践②）
- 汗字の実義（字門道よりの実践①）
- 汗字の実義（字門道よりの実践②）
- 試験
- 試験問題の解説

準備学習(予習・復習)・時間

事前学習として、テキストの該当箇所を自分で読み、専門用語の意味を調べ、疑問点をまとめておくこと。(90分) / 講義内容をノートにまとめ、重要な用語やテーマについて覚えなおし、講義で紹介された論文などに目を通しておくこと。(60分)

テキスト

『十巻章』（高野山大学出版部）所収の『吽字義』 ※注釈書はコピーを配布

参考書・参考資料等

松長有慶『訳注 吽字義』（春秋社） / 弘法大師著作研究会編『吽字義の研究』（高野山大学密教文化研究所紀要別冊） など

学生に対する評価

試験・レポート（50%）、授業参加の積極性（50%）

ルーブリック(目標に準拠した評価)

- 密教の主要な専門用語を理解し、説明することができる。
- 漢文テキストである弘法大師の著作を読み、その内容をある程度に理解することができる。
- 弘法大師の著作を読み、その内容を注釈書や先行研究を用いて分析することができる。
- 弘法大師の著作を読み、その内容を注釈書や先行研究を用いて分析ことができ、その結果を的確に説明あるいは表現することができる。

課題に対するフィードバックの方法

毎回の講義で質問を受け付け、次回の講義で回答と解説をおこなう。試験については、試験の実施後すぐに正解を発表し、解説をおこなう。

その他

必ず予習して講義に臨むこと。